

蛇

おん

ジャ・ダ

へび

11画
口 中 虫 虫 蛇 蛇

いみとじゆく

なりたち 蛇の形をかたどり、蛇の本字である虫と虫との会意形声字。它が別の意味に使われたため、虫が加えられた。

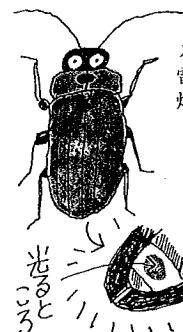
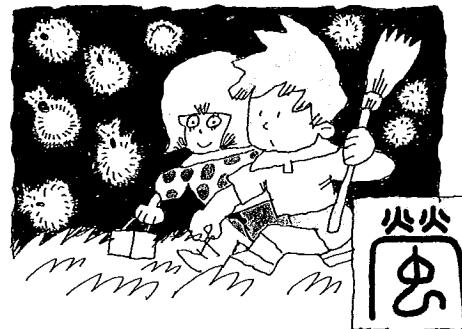
蛇足：蛇を描いて足をかき加えることで、無用で余計な属製の口。形が蛇に似ているのでいう。

蛇行：蛇の進み方のように、ことのたどえに使う言葉。昔、ヘビを描く競争をして、一番先にかけたのに、足をかき加えていたため負けたという故事による。

蛇の目・蛇腹

▼蛇。

大蛇：大きな蛇。おろち。
長蛇：長い蛇。転じて、①悪の毒蛇：かみつく時毒を出す蛇。
マムシ・ハブなど。
大物の意味。②長い列のたどえ。用例 長蛇の列が続く。
蛇道。
蛇口：水管の先に付ける金屬製の口。形が蛇に似ているのでいう。



11画
口 中 虫 虫 蛍 蛍

ほたる

ほたる

なりたち 旧字体は螢。螢（と）もしげ）の意味の蟲と、虫との会意形声字で、ともしげのよに光を発する虫「螢」を表した字。

螢

おん

ケイ

ほたる

いみとじゆく

螢雪：昔、中国の車胤（しんえん）と明かりで本を読んだ故事から、苦心して勉学することをいう。用例 螢雪の功。（苦心して勉学した成果。）

蚊

おん

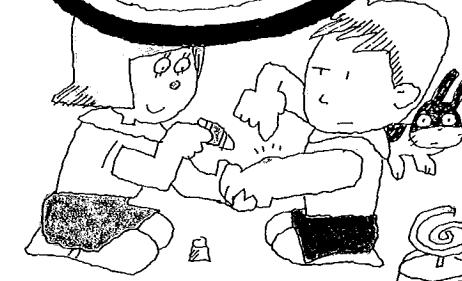
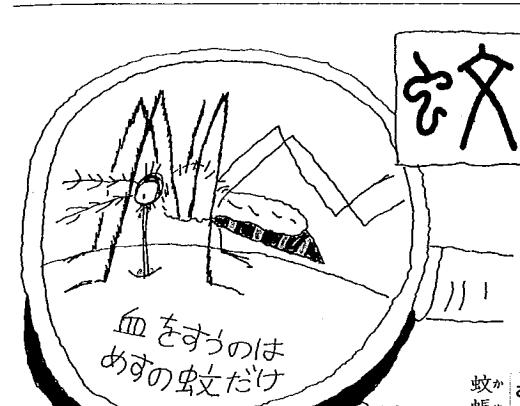
ケ

はらう

なりたち 虫と文との形声字で、ブーン（文）という羽音を立てて飛ぶ虫「か」を表した字。

いみとじゆく

蚊帳：蚊屋の意味で、蚊を防ぐために寝床を覆う網のようなもの。



10画
口 口 中 虫 蚊 蚊

か

か

なりたち 虫と文との形声字で、ブーン（文）という羽音を立てて飛ぶ虫「か」を表した字。



繭

おん

ケン

まゆ

18画
一 サ 茎 茎 繭 繭

いみとじゆく

なりたち 旧字体は繭。筍（左）右釣り合いが取れる意味）と糸と虫との会意形声字。左右同じ形をしていて、中に虫がおり、蚕の吐き出糸で作られた物「まゆ」を表した字。繭の音は絹による。

▼繭。

繭糸：絹糸（絹糸）。繭から取れた糸、という意味の言葉。
玉繭：二匹の蚕が一緒に作つた繭。大型で、ふつくりしているので玉繭という。
繭玉：柳の枝に繭状の餅（もち）や稲穂や小判などの模型をつけた正月の飾り物。